

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

なごもくの家

グループの名称

なごもくの家づくり協議会

直近採択グループ番号

06-0185-0459

(グループ代表者)

代表者名

丹羽 耕太郎

代表者印

代表者所属先

名古屋木材株式会社

代表者所在地

愛知県名古屋市中川区山王二丁目6番41号

代表者電話番号

052-321-1526

(グループ事務局)

事務局事業者名

名古屋木材株式会社 西部事業所

事務局担当者名

新美 吉春

印

事務局郵便番号

490-1444

事務局所在地

愛知県海部郡飛島村木場一丁目31番地

事務局電話番号

0567-55-1790

事務局FAX

0567-55-1791

事務局担当者E-mail

niimi@meimoku.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	なごもくの家
2. グループの名称(必須)	なごもくの家づくり協議会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0185-0459
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	愛知県、三重県、岐阜県
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	丹羽 耕太郎
7. グループ代表者の所属先(必須)	名古屋木材株式会社
8. グループ代表者所在地(必須)	愛知県名古屋市中川区山王二丁目6番41号
9. グループ代表者電話番号(必須)	052-321-1526
10. グループ事務局事業者名(必須)	名古屋木材株式会社 西部事業所
11. グループ事務局担当者名(必須)	新美 吉春
12. グループ事務局郵便番号(必須)	490-1444
13. グループ事務局所在地(必須)	愛知県海部郡飛島村木場一丁目31番地
14. グループ事務局電話番号(必須)	0567-55-1790
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0567-55-1791
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	nimi@meimoku.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	7	一部の原木供給業者が海外である為、本申請において必要とされる念書の入手が不可能であった為
II. 製材・集成材製造・合板製造	10	一部の製材製造供給業者が海外である為、本申請において必要とされる念書の入手が不可能であった為
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	9	
IV. プレカット	2	
V. 設計	14	
VI. 施工	11	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	1	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 合法木材証明制度を利用する</li> <li>■ 合法木材証明制度を利用する</li> <li>■ PEFC認証制度を利用する</li> <li>■ PEFC認証制度を利用する</li> <li>■ SGEC認証制度を利用する</li> <li>■ FSC認証制度を利用する</li> <li>■ FSC認証制度を利用する</li> <li>■ FIPC認証制度を利用する</li> <li>■ クリーンウッド法に基づく証明</li> <li>■ クリーンウッド法に基づく証明</li> </ul>		国産材		3	国内
		外材		3	国外
		国産材		2	国内
		外材		2	国外
		国産材		2	国内
		国産材		2	国内
		外材		2	国外
		国産材		2	国内
		国産材		4	国内
		外材		4	国外
		愛知県	愛知県産材認証機構認証制度	1	国内
		三重県	「三重の木」認証制度	1	国内
	岐阜県	岐阜証明材推進制度	1	国内	
	岐阜県	ぎふ性能表示材推進制度	1	国内	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		22	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	22	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		9	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	9	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		4	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	採択配分戸数が希望施工事業者数に満たない場合は、長期優良住宅、認定低炭素住宅それぞれの補助金実績のない事業者や請負契約が確実視されている事業者へ優先的に配分する。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) <b>なごもくの家</b>	(地域型住宅供給対象地域) <b>愛知県、三重県、岐阜県</b>
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) <b>なごもくの家づくり協議会</b>	(結成年) <b>2015 年</b>
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	<b>06-0185-0459</b>	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	当地区特有の高温多湿の蒸し暑い夏を快適に過ごすため、夏の熱を逃がす又は軽減されることを配慮した住宅とする。 また東海、東南海地震等の大型地震が想定されることから地震に強い住宅とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	耐震等級2以上の在来軸組工法とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	夏の熱を逃がすため、主な居室(居間を含む一体的空間および主寝室)において、二方向に開口部がある、または一方でも通風・排熱を促す取組みがなされている。	◎
④①～③の背景	東海地方の夏は高温多湿で、全国でも有数の酷暑地帯である。 冬は伊吹おろし、鈴鹿おろしという乾燥した冷たい風が吹くため、体感温度が北日本並みにまで低下する日がある。 また東海、東南海地震の発生する可能性が高く、その場合は甚大な被害に及ぶことが想定される。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	ア. 屋根、外壁に遮熱シートを用いる、もしくは高気密外断熱工法とする。 イ. 石膏ボードを使用する場合は、押入・クローゼットは調湿機能付きのものを採用し、少なくともリビングにはホルムアルデヒド吸着性能のあるものを採用する。 ウ. バリアフリー性に関する基準を高年齢者等配慮対策等級3程度とする。 上記3項目のうち、2項目を満たすものとする。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 柱、土台は105角以上であること。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ独自ルールにて使用する建材を共通化し統一を行う。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 柱、土台の全ては含水率25%以下の乾燥材である愛知県もしくは三重県もしくは岐阜県の認証材であること。梁・桁の過半については含水率25%以下の、合法性が証明された木材もしくは愛知県又は三重県又は岐阜県の認証材を使用すること。	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 一括購入、在庫保管を行い、安定供給をめざす。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 建材・資材のパッケージ提案を行い、仕様の集約化を図る。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 資材、流通、工法等のコストダウンを検討する委員会を立ち上げる。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 申請予定物件の生産スケジュールに合わせて、プレカット工場の日程の確保や価格の変動などの情報を考慮したうえでの建材・資材の在庫調整を行い、スムーズに建築が進むよう配慮する。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 標準施工として通し柱の欠損を減らすために胴差仕口は無垢材対応の金物工法とする。健全な架工設計をめざすため、柱直下率(2階柱のうち直下に1階柱のあるものの割合)を50%以上とする。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局において、プレカット見積作成時に2階床伏図を確認することにより胴差仕口の確認、平面図またはプレカット図面により柱直下率を確認する。基準に満たない場合は、設計・施工グループ構成員に是正を求める。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局が作成した地域材標準価格表に基づき、適正価格で見積を作成し、施主に提示する。また工事一式表示ではなく、工事ごとの見積もりとする。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施主に向けて、プレカット工場・製材工業などの生産現場を見学する機会を設ける。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 国土交通省の、「建設キャリアアップシステム」と建設技能者の能力評価制度についての情報を、随時事業者へメール等で連絡する。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 国土交通省の開催する事業者向け説明会などをメール等で連絡し参加を促進する。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 安全衛生教育講習会などをメール等で連絡し参加を推進する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	123	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) なごもくの家	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県、三重県、岐阜県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) なごもくの家づくり協議会	(結成年) 2015 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0185-0459		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積履歴情報の		
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅建設に使用した図面、書類等を保管し、点検・修繕スケジュールを把握するとともに、点検・修繕の記録を保存・管理する。	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第3者機関の住宅履歴システム「いえかるて」の導入を会員に義務化する。	◎
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: インターネットでの閲覧により確認する。	◎
	② メンテナンス基準		
	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「いえかるて」の点検スケジュールにのっとり、点検を行う。	◎
	②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「いえかるて」の修繕スケジュールにのっとり、修繕を行う。	◎
	②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「いえかるて」のメールサービスによる通知にて確認する。	◎
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メーカーショールームを利用し、「自分の家を守る」という意識を高めるために、住まいの管理について勉強する機会を設ける。	○
③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: リフォーム資材を取り扱っているプロショップを利用し、住宅の維持・修繕に対して実際に使用されている資材を見学・相談する機会を設ける。	○	
③-3 その他の相談会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が補助金申請物件に対し、「いえかるて」導入の実施を登録証の写しにより確認する。	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局から施主へ代替可能な工務店の紹介を行う。	○
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・無垢材対応の金物工法、断熱講習会を行う。 ・長期優良住宅、低炭素認定住宅の経験のない施工構成員に対し、勉強会を行う。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 木造建築士以上の有資格者が品質管理を行う。	○
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が施工グループ構成員に対し、事業終了時にヒアリングを行う。	○
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工グループ構成員である工務店の需給情報の共有を進め、長期優良住宅や低炭素認定住宅の需給計画の算定に取り組む。	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 中期目標として、施工グループ構成員である工務店の全てが長期優良住宅や低炭素認定住宅の生産を経験できる様にグループとして全面的にサポートしていく。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各業種間の連結を密にし、情報の共有化を図るとともに計画性のある生産体制の構築を図る。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 12 今年度の参加目標人数 1	◎
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 3 今年度の参加目標人数 1	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局より各県で開催される講習会日程をメール等で連絡し、参加を促進する。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建材メーカー等が新しく開発した技術や商品を委員会で随時検討する。	○
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 委員会にて導入できると判断した場合は構成員に案内し、サンプルとしての導入を施工グループ構成員に募る。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) なごもくの家	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県、三重県、岐阜県												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) なごもくの家づくり協議会	(結成年) 2015 年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0185-0459													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	土台、柱の全てについては愛知県又は三重県又は岐阜県の認証材を使用のこと。 梁・桁及び他部位の過半については合法性が証明された木材もしくは愛知県又は三重県又は岐阜県の認証材を使用のこと。 羽柄材の全てについては合法性が証明された木材もしくは愛知県又は三重県又は岐阜県の認証材を使用のこと。												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上												
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>柵、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	柵、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
造作材	柵、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>地域材の流れ</p> <p>あいち認証材・「三重の木」・ぎふ証明材・ぎふ性能表示材・合法木材</p> <p>事務局(建材流通)にて申請予定物件の地域材の必要量を把握し、製材・集成材製造・合板製造グループと需給情報を共有する</p> <p>I. 原木供給G → II. 製材・集成材製造・合板製造G → IIIa. 建材流通G → IV. プレカット加工G → IIIb. 建材流通G → V. 施工G → 施主</p> <p>合法木材の一部では、産地、出荷者が多岐にわたり原木供給者の特定が困難であるため、製材・集成材製造・合板製造事業者による合法性の証明によって代替する。      建材流通のIIIaとIIIbは業者が異なる場合がある</p>												
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が市場や製材グループ構成員などから情報を収集する。												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が価格相場を原則として月1回グループ内に発信する。急激な変動があった場合は随時発信する。												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 毎月施工グループ構成員に申請予定物件の進捗を確認し、地域材の材積を把握し、製材グループ構成員と情報を共有する。												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 25 枚												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 40 坪												
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 24 枚												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 12 枚												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 縁甲板に地域材を積極的に取り入れる。												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 広縁などを積極的に取り入れる。												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域特有の暑さを防ぐために、南側の軒の出を大きくする。南に大きく開口部をとり、西の窓は小さくする。												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 西日を防ぐため、住宅の西側に植栽等を活用する。												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 住宅本体の配置、高さ、屋根形状、外壁・屋根の色彩、カーポート・物置などの配置、色、形状が、近隣の住宅や街区のまちなみに調和していること。												
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 内装仕上げ材に、杉や桧などの羽目板やフローリング等を積極的に使う。												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。													
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
	東日本大震災の復興に資する取組	東北地方で生産された針葉樹合板を一部の物件で使用する。												
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	九州地方の木材製品を一部の物件で使用する。												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域（必須）	<small>（地域型住宅の名称）</small> なごもくの家	<small>（地域型住宅供給対象地域）</small> 愛知県、三重県、岐阜県
2. グループの名称・結成年月（必須）	<small>（グループの名称）</small> なごもくの家づくり協議会	<small>（結成年）</small> 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0185-0459	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>＜認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅 共通＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震等級 2以上を確保する。</li> <li>・太陽光発電、コージェネレーションシステム、空気集熱式太陽光工利用システム、太陽熱給湯、ハイブリッド型給湯器、自然冷媒ヒートポンプ給湯器のいずれか1つ以上を使用する。</li> <li>・設置する便器はすべて節水に資する便器を採用する。</li> </ul> <p>＜ゼロ・エネルギー住宅＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震等級 2以上を確保する。</li> <li>・照明設備には白熱灯を使用しないこととする。</li> <li>・設置する便器はすべて節水に資する便器を採用する。</li> <li>・創エネ手法としては太陽光発電を採用し、BELS認証により評価するものとする。</li> </ul>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。